

動物管理学科
ドッグセラピーコース

授業科目	福祉と動物関係学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	1年次通年	必修	講義	4単位
担当教員	橋本昭、尾崎夏美				
実務経験歴	【橋本・尾崎】高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施				
授業目的	アニマルセラピスト初級の対策講座を中心に、人と動物の関係やセラピー動物の飼育管理、動物業界について実践的に学ぶ。				
達成目標	アニマルセラピスト初級の内容を理解するとともに、アニマルセラピー活動の計画立案ができるようになる。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会				
参考書	やさしいエキゾ学/著者：清水宏子/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験 (100%)				
授業内容とスケジュール					
1回	アニマルセラピストとは	16回	セラピー犬の適正①		
2回	アニマルセラピーとは①	17回	セラピー犬の適正②		
3回	アニマルセラピーとは②	18回	セラピー犬の適正③		
4回	アニマルセラピーとは③	19回	セラピー犬の適正④		
5回	アニマルセラピーの歴史と分類	20回	セラピー犬の適正⑤		
6回	セラピー動物の飼育管理 (犬猫) ①	21回	活動前の健康チェック		
7回	セラピー動物の飼育管理 (犬猫) ②	22回	面会マナーについて		
8回	セラピー動物の飼育管理 (小動物) ①	23回	アニマルセラピー活動について①		
9回	セラピー動物の飼育管理 (小動物) ②	24回	アニマルセラピー活動について②		
10回	セラピー動物の飼育管理まとめ	25回	活動実施計画書の作成①		
11回	犬による効果	26回	活動実施計画書の作成②		
12回	社会で奉仕している代表的な犬達①	27回	アニマルセラピスト初級対策講座①		
13回	社会で奉仕している代表的な犬達②	28回	アニマルセラピスト初級対策講座②		
14回	期末試験対策	29回	アニマルセラピスト初級対策講座③		
15回	期末試験・総評・まとめ	30回	期末試験・総評・まとめ		
備考					

授業科目	福祉と動物関係学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	2年次通年	必修	講義	4単位
担当教員	橋本昭、尾崎夏美、竹口真理				
実務経験歴	【橋本・尾崎】高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施 【竹口】：動物病院に勤め医療に従事				
授業目的	アニマルセラピスト初級の対策講座を中心に、人と動物の関係やセラピー動物の飼育管理、動物業界について実践的に学ぶ。				
達成目標	アニマルセラピスト初級の内容を理解するとともに、アニマルセラピー活動の計画立案ができるようになる。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会				
参考書	やさしいエキゾ学/著者：清水宏子/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	セラピー犬の適正①	16回	アニマルセラピー活動について④		
2回	セラピー犬の適正②	17回	アニマルセラピー活動について⑤		
3回	セラピー犬の適正③	18回	活動実施計画書の作成①		
4回	セラピー犬の適正④	19回	活動実施計画書の作成②		
5回	セラピー犬の適正⑤	20回	活動実施計画書の作成③		
6回	セラピー犬の適正⑥	21回	活動実施計画書の作成④		
7回	セラピー犬の適正⑦	22回	アニマルセラピスト初級対策講座①		
8回	セラピー犬の適正⑧	23回	アニマルセラピスト初級対策講座②		
9回	活動前の健康等チェック	24回	アニマルセラピスト初級対策講座③		
10回	面会マナー（注意・留意点）について①	25回	アニマルセラピスト初級対策講座④		
11回	面会マナー（注意・留意点）について②	26回	アニマルセラピスト初級対策講座⑤		
12回	アニマルセラピー活動について①	27回	アニマルセラピスト初級対策講座⑥		
13回	アニマルセラピー活動について②	28回	アニマルセラピスト初級対策講座⑦		
14回	アニマルセラピー活動について③	29回	アニマルセラピスト初級対策講座⑧		
15回	期末試験・総評・まとめ	30回	期末試験・総評・まとめ		
備考					

授業科目	動物介在/人間関係学1				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	1年次（前後期）	必修	講義	4単位
担当教員	谷 真由美				
実務経験歴	認定動物看護師資格を有する				
授業目的	アニマルセラピスト初級の対策講座を中心に、人と動物の関係やセラピー動物の飼育管理、動物業界について実践的に学ぶ。				
達成目標	アニマルセラピスト初級の内容を理解するとともに、アニマルセラピー活動の計画立案ができるようになる。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会				
参考書	めざせ早期発見！わかる犬の病気/著書:小沼守/インターズー				
成績評価(割合)	定期試験結果及びレポート、出席、授業態度等により総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	伴侶動物とは	16回	犬、猫の食事1		
2回	アニマルセラピー	17回	犬、猫の食事2		
3回	健康管理	18回	エキゾチックアニマルの食事1		
4回	BCSについて	19回	エキゾチックアニマルの食事2		
5回	体調管理	20回	餌の選び方1		
6回	ワクチンと予防	21回	餌の選び方2		
7回	公衆衛生と感染症1	22回	妊娠から出産まで(犬、猫)		
8回	公衆衛生と感染症2	23回	妊娠から出産まで(エキゾチックアニマル)		
9回	人獣共通感染症	24回	手入れのしかた(耳、爪)		
10回	犬の感覚	25回	手入れのしかた(口内)		
11回	猫の感覚	26回	手入れのしかた(シャンプー)		
12回	犬、猫の運動と睡眠	27回	猫の手入れのしかた		
13回	子犬、子猫の運動と睡眠	28回	子犬、子猫の手入れのしかた		
14回	期末試験対策	29回	期末試験対策		
15回	期末試験・総評・まとめ	30回	期末試験・総評・まとめ		
備考					

授業科目	動物介在/人間関係学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	2年次（前期）	必修	講義	2単位
担当教員	竹口 真理				
実務経験歴	動物病院に勤め医療に従事				
授業目的	アニマルセラピスト中級講座を中心に、動物業界について学ぶ				
達成目標	アニマルセラピスト中級の内容を理解する				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピスト中級/NPO法人日本アニマルセラピー協会				
参考書	めざせ早期発見！わかる犬の病気/著：小沼守/インターズー				
成績評価（割合）	期末試験（80％）学習態度（20％）				
授業内容とスケジュール					
1回	活動前に確認したい全身のチェック				
2回	人にも感染するおそれのある病気・症状				
3回	部位別での病気・症状の知識（耳）				
4回	部位別での病気・症状の知識（目）				
5回	部位別での病気・症状の知識（鼻）				
6回	部位別での病気・症状の知識（口）				
7回	部位別での病気・症状の知識（お尻・お腹周り）				
8回	部位別での病気・症状の知識（足先・膝・腰周りの病気）				
9回	トリマー、ペットショップスタッフの基礎知識（シャンプー①）				
10回	トリマー、ペットショップスタッフの基礎知識（シャンプー②）				
11回	トリマー、ペットショップスタッフの基礎知識（消毒方法①）				
12回	トリマー、ペットショップスタッフの基礎知識（消毒方法②）				
13回	トリマー、ペットショップスタッフの基礎知識（ワクチン）				
14回	試験対策				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	ドッグセラピー技術学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	1年次（前期）	必修	講義・実習	12
担当教員	竹下恵里佳、竹口真理、大津晴男、橋本昭、尾崎夏美				
実務経験歴	竹下：平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務。平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立。 竹口：動物病院に勤め医療に従事 大津：トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事 橋本：高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施。 尾崎：高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施。				
授業目的	アニマルセラピスト初級の対策講座を中心に、犬の基本知識を身につけ、実際に犬をさわりながらトレーニングの基礎を学ぶ				
達成目標	アニマルセラピスト初級の内容を理解し犬の性格を把握しながらコントロールできる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1～13	犬の基本知識/小型犬・大型犬に慣れる①				
14～27	犬の基本知識/小型犬・大型犬に慣れる②				
28～41	犬の基本知識/実際に犬の歯の本数を数える				
41～54	犬の性格について/犬と遊ぶ				
55～68	トレーニングする上で大切なこと/リードをつけて犬をさわる①				
69～82	しつけ訓練について/リードをつけて犬をさわる②				
83～96	基本トレーニング①/アイコンタクト・オイデの練習				
97～109	基本トレーニング②/オスワリ・フセの練習				
110～123	犬のストレス/ツイテの練習				
124～137	ボディーランゲージ/マテの練習				
138～151	カーミングシグナル・ボディコントロール/実際にボディコントロールをする				
152～164	能動的服従・受動的服従/基本トレーニングを使いながらコントロールする①				
165～176	JKCグループ分け/基本トレーニングを使いながらコントロールする②				
177～179	期末試験対策/基本トレーニングを使いながらコントロールする③				
180	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	ドッグセラピー技術学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	1年次（後期）	必修	講義・実習	12
担当教員	竹下恵里佳、竹口真理、大津晴男、橋本昭、尾崎夏美				
実務経験歴	<p>【竹下】：平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務。平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立。</p> <p>【竹口】：動物病院に勤め医療に従事</p> <p>【大津】：トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小型哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送など。42年従事</p> <p>【橋本】：高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施。</p> <p>【尾崎】：高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施。</p>				
授業目的	アニマルセラピスト初級の対策講座を中心に、技術学Ⅰの学びをもとに実際に犬をさわりながらトレーニングを学ぶ				
達成目標	アニマルセラピスト初級の内容を理解し、担当犬の性格を把握しながら優良家庭犬試験対策のトレーニング計画を組み立て実行できる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会				
参考書	トレーニング・ザ・ケイナイン・グッド・シチズン/テリー・ライアン著 山崎恵子訳				
成績評価(割合)	期末試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1～13	仔犬の社会化期/リードをつけてコントロールする①				
14～27	犬を飼う前に考えること/リードをつけてコントロールする②				
28～41	仔犬の選び方/担当犬の性格・レベルを把握する①				
41～54	犬種団体・血統書/担当犬の性格・レベルを把握する②				
55～68	ハウストレーニング/実際に行う				
69～82	トイレトレーニング/担当犬のトイレスタイルを確認する				
83～96	犬体名称/実際に様々な犬の犬体名称をさわる				
97～109	骨格名称/実際に様々な犬の骨格名称をさわる				
110～123	様々な犬具/実際に犬具を使用する				
124～137	優良家庭犬試験について①/優良家庭犬試験内容の練習①				
138～151	優良家庭犬試験について②/優良家庭犬試験内容の練習②				
152～164	優良家庭犬試験について③/優良家庭犬試験内容の練習③				
165～176	優良家庭犬試験について④/優良家庭犬試験内容の練習④				
177～179	期末試験対策/優良家庭犬試験内容の練習⑤				
180	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	ドッグセラピー技術学Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	2年次（前期）	必修	講義・実習	10
担当教員	竹下 恵里佳				
実務経験歴	平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務 平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立				
授業目的	アニマルセラピスト初級の対策講座を中心に、様々な犬種や使役犬について学ぶ				
達成目標	アニマルセラピスト初級の内容を理解し、担当犬の性格を把握しながらトレーニングの計画内容を組み立てることができる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会				
参考書	トレーニング・ザ・ケイナイン・グッド・シチズン/テリー・ライアン著 山崎恵子訳				
成績評価(割合)	期末試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1～11	日本犬と洋犬の違い/実際に違いを感じながらさわる				
12～23	犬種について①/様々な犬種をさわる				
24～36	犬種について②/担当犬のトレーニング～目標立て～				
37～50	繁殖について/担当犬のトレーニング～実行①～				
51～60	優性・劣性について/担当犬のトレーニング～実行②～				
61～70	色素・色調について/担当犬のトレーニング～実行③～				
71～82	トレーニング計画について①/担当犬のトレーニング～確認・修正～				
83～93	トレーニング計画について②/担当犬のトレーニング～実行④～				
94～104	トレーニング計画について③/担当犬のトレーニング～実行⑤～				
105～115	使役犬について/担当犬のトレーニング～実行⑥～				
116～126	トレーニング用語について/担当犬のトレーニング～実行⑦～				
127～137	警察犬について/担当犬のトレーニング～実行⑧～				
138～146	ノーズワークについて/担当犬のトレーニング～実行⑨～				
147～149	期末試験対策/担当犬のトレーニング～実行⑩～				
150	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	ドッグセラピー技術学Ⅳ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	2年次（後期）	必修	講義・実習	11
担当教員	竹下 恵里佳				
実務経験歴	平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務 平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立				
授業目的	アニマルセラピスト初級の対策講座を中心に、犬の歴史・問題行動について学ぶ				
達成目標	アニマルセラピスト初級の内容を理解し担当犬の性格性能を見極め、優良家庭犬試験対策のトレーニング内容を組み立て実行できる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会				
参考書	トレーニング・ザ・ケイナイン・グッド・シチズン/テリー・ライアン著 山崎恵子訳				
成績評価(割合)	期末試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1～11	犬の歴史/担当犬のトレーニング～目標確認～				
12～23	犬の学習の仕方/担当犬のトレーニング～実行①～				
24～36	犬の問題行動について①/担当犬のトレーニング～実行②～				
37～50	犬の問題行動について②/担当犬のトレーニング～実行③～				
51～60	犬の攻撃行動の動機/担当犬のトレーニング～確認・修正～				
61～70	犬の問題行動の予防/担当犬のトレーニング～実行④～				
71～82	賞罰の大切さ/担当犬のトレーニング～実行⑤～				
83～95	犬の病気/担当犬のトレーニング～実行⑥～				
96～108	優良家庭犬試験①/担当犬のトレーニング～確認・修正～				
109～121	優良家庭犬試験②/担当犬のトレーニング～実行⑦～				
122～134	優良家庭犬試験③/担当犬のトレーニング～実行⑧～				
135～147	優良家庭犬試験④/担当犬のトレーニング～実行⑨～				
148～159	優良家庭犬試験⑤/担当犬のトレーニング～確認・修正～				
160～164	期末試験対策/担当犬のトレーニング～実行⑩～				
165	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	ドッグセラピー理論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	1年次通年	必修	講義	4単位
担当教員	谷 真由美				
実務経験歴	認定動物看護師資格を有する				
授業目的	アニマルセラピスト初級の対策講座を中心に、人と動物の関係やセラピー動物の飼育管理、動物業界について実践的に学ぶ。				
達成目標	アニマルセラピスト初級の内容を理解するとともに、アニマルセラピー活動の計画立案ができるようになる。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピスト初級/NPO法人日本アニマルセラピー協会				
参考書	めざせ早期発見！わかる犬の病気/著書:小沼守/インターズー				
成績評価(割合)	定期試験結果及びレポート、出席、授業態度等により総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1回	犬のからだ(体格、骨格)	16回	犬種によってかかりやすい病気と予防1		
2回	皮膚の構造1	17回	犬種によってかかりやすい病気と予防2		
3回	皮膚の構造2	18回	犬種によってかかりやすい病気と予防3		
4回	目の構造1	19回	犬種によってかかりやすい病気と予防4		
5回	目の構造2	20回	犬種によってかかりやすい病気と予防5		
6回	耳の構造1	21回	犬種によってかかりやすい病気と予防6		
7回	耳の構造2	22回	犬種によってかかりやすい病気と予防7		
8回	鼻の構造1	23回	犬種によってかかりやすい病気と予防8		
9回	鼻の構造2	24回	犬種によってかかりやすい病気と予防9		
10回	口内の構造1	25回	犬種によってかかりやすい病気と予防10		
11回	口内の構造2	26回	犬種によってかかりやすい病気と予防11		
12回	泌尿器、生殖器の作り	27回	犬種によってかかりやすい病気と予防12		
13回	足先、膝、腰回りの作り	28回	犬種によってかかりやすい病気と予防13		
14回	期末試験対策	29回	期末試験対策		
15回	期末試験・総評・まとめ	30回	期末試験・総評・まとめ		
備考					

授業科目	総合研究				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	2年次（後期）	必修	講義	1単位
担当教員	尾崎夏美				
実務経験歴	高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を10年以上実施				
授業目的	ドッグセラピーコースの授業で学んだセラピーの理念に基づき、更なる研究テーマに沿って論文などを作成する。				
達成目標	各自、研究テーマを決定し、調査や実践な研究を行いセラピストとしての判断力や実践能力を身につける。				
授業時間外に必要な学修	心身共に健康であり、また、常に向上心を持ち続けることができるよう意識を高めることが必要。				
テキスト	各教科で使用したテキスト				
参考書					
成績評価(割合)	制作した論文など（100%）にて優・良・可・不可にて評価				
授業内容とスケジュール					
1回	研究について				
2回	テーマの選定				
3回	テーマの決定				
4回	テーマに沿って研究				
5回	テーマに沿って研究				
6回	テーマに沿って研究				
7回	テーマに沿って研究、論文作成				
8回	テーマに沿って研究、論文作成				
9回	テーマに沿って研究、論文作成				
10回	テーマに沿って研究、論文作成				
11回	テーマに沿って研究、論文作成				
12回	テーマに沿って研究、論文作成				
13回	テーマに沿って研究、論文作成				
14回	テーマに沿って研究、論文作成				
15回	作成した論文や発表などにて評価				
備考					